

受講料 無料 !

ハロートレーニング（公共職業訓練）受講生募集

## 介護職員初任者研修科

ハロートレーニング  
— 急がば学べ —

[ 訓練の目的 ]	求職中の方が、新たな職業に必要な知識・技能を習得することにより、早期就職を促進するための訓練です。
[ 受講対象者 ]	公共職業安定所に求職手続きをされた方で、公共職業安定所長の受講指示、受講推薦又は支援指示を受けられる方。 ※ただし、看護師、准看護師、保健師、介護福祉士、社会福祉士、ホームヘルパー（2級以上）、介護支援専門員の免許・資格をお持ちの方、又は初任者研修課程、実務者研修課程、介護職員基礎研修課程修了者は応募できません。
[ 定 員 ]	20名
[ 訓練期間 ]	令和6年5月31日（金）～令和6年8月30日（金）（3か月） 【職場実習 令和6年7月29日（月）～令和6年8月28日（水）】 毎週 月～金曜日（祝日・訓練休を除く） 9：10～15：50 ※職場実習中は、実習先の勤務時間となります。
[ 訓練場所 ]	都城コアカレッジ 都城市吉尾町77-8 （駐車場無料）
[ 訓練内容 ]	介護職員初任者研修課程修了を目指すとともに、パソコンの基本操作を学びます。 （詳細は裏面のカリキュラムのとおり）
[ 費用等 ]	① 訓練受講料は無料です。 ② テキスト代として8,224円、職業訓練生総合保険料（全員加入3,100円）、及び職場実習前の健康診断費用並びにインフルエンザ予防接種等が必要な場合に係る費用は自己負担となります。 ③ 介護の資格取得に必要な法定講習を遅刻・早退・欠席した受講生が補講を希望する場合、有料（3,000円/h）の補講となります。 ④ 雇用保険受給資格者等で公共職業安定所長から受講指示を受けられた方には訓練期間中に訓練手当が支給されます。 ⑤ 雇用保険受給資格の無い方でも一定の要件を満たせば、「職業訓練受講給付金」の制度があります。詳細は最寄りの公共職業安定所へご相談ください。 ⑥ 応募状況により訓練を中止することがあります。 ※この訓練の実施は、令和6年度宮崎県一般会計予算成立が条件となります。
[ 募集期間 ]	令和6年3月15日（金）～令和6年4月30日（火）
[ 応募方法 ]	入校希望者は最寄りの公共職業安定所にご相談いただき、「入校申込書」を提出してください。
[ 選 考 ]	令和6年5月10日（金） 受付時間 9：30～9：50 【適性検査・面接】 10：00～13：00頃まで（予定） （応募人数により終了時間は異なります。また、遅刻・欠席の場合は辞退されたものとみなします。） ※筆記用具（鉛筆2、3本）をご持参ください 選考会場 都城コアカレッジ（右の地図参照）



## 【お問合せ・お申込み先】

ハローワーク都城：0986-22-1745 ハローワーク小林：0984-23-2171  
ハローワーク大隅：099-482-1265【実施主体】宮崎県立産業技術専門校（〒881-0003 西都市大字右松 362-1）  
TEL 0983-42-6509 FAX 0983-42-6511【訓練場所】都城コアカレッジ（〒885-0006 都城市吉尾町 77-8）  
TEL 0986-38-4811 FAX 0986-38-4810選考会及び  
訓練実施場所

委託訓練カリキュラム

実施施設名 都城コアカレッジ

訓練科名	介護職員初任者研修科	訓練期間	令和6年5月31日(金)～令和6年8月30日(金) 3か月 (職場実習 令和6年7月29日(月)～令和6年8月28日(水)のうち13日間)		
訓練目標	1.講義・演習を通して介護職員の業務に関する知識及び技術を習得し、介護初任者研修を修了することができる。 2.職場実習を通じて介護現場の実際に体験し、介護職員の指導の下、介護を必要とする人に対する介護技術を身につけることができる。 3.ICT化の進む介護現場において、パソコンを使用した記録等の作成ができるようになる。				
仕上がり像	介護職員や訪問介護員として、介護保険施設や事業所、障害者支援施設等で介護初任者研修の資格を活かして働くことができる。 訓練を通して基礎的なパソコン操作および文書作成、表計算を学ぶので、記録等がICT化された事業所にも円滑に就職できる。 訓練を通してボディメカニクスや移動用リフト等の福祉用具の活用方法を習得するため、就職後の腰痛防止等の自身の安全を確保して長期間にわたって健康に働くことができる。 就職後に介護職員として実務経験を積む中で、介護実務者研修を受講して、国家資格である介護福祉士を目指す際にも介護初任者研修者は履修科目が一部免除になるのでキャリアアップを目指すことができる。				
取得可能な資格	介護職員初任者研修課程修了(全課程を履修し評価試験に合格した者) 修了評価試験日:令和6年7月10日(水)				
訓練内容			総時間	学科	実技
	オリエンテーション	訓練の概要説明、受講上の注意、事務連絡、訓練施設の案内、就職状況報告について(入校式・修了式を除く)	4	4	0
	就職支援	就職にあたっての書類について、面接訓練、働くことの意義と心構え、求職活動の流れと心構え、健康管理、働くうえでの権利(法律)、求人票の見方、介護事業所が求める人材、介護事業所巡見、キャリアプラン作成	14	14	0
	職務の理解	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解	6	6	0
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護	9	9	0
	介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との理解、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全	6	6	0
	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度等、医療との連携とリハビリテーション、障害者総合支援制度とその他の制度	9	9	0
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	6	6	0
	老化の理解	老化に伴うこととからだの変化と日常、高齢者と健康	9	9	0
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うこととからだの変化と日常生活、家族への支援	8	8	0
	障害の理解	障害の基礎的理解、障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的理解、家族の心理の理解、かかわり支援の理解	6	6	0
	こととからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方、介護に関することとからだのしくみの基礎的理解、介護に関することとからだのしくみの基礎的理解、生活と家事、快適な住環境整備と介護、整容に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護、移動・移乗に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護、食事に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護、入浴・清潔保持に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護、排泄に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護、睡眠に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護、死にゆく人に関連したこととからだのしくみと終末期介護、介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習	72	39	33
	振り返り	振り返り、就業への備えと研修修了後における継続的な研修	6	6	0
	介護総合演習	基礎的な介護技術の確認、応用的な介護技術の習得、実際の介護現場における多様な介護方法の理解、介護記録の書き方、職場実習の心構え、職場実習の振り返り、修了評価試験対策、実習報告会、介護の職能団体の理解	75	54	21
パソコン基礎	パソコンの取り扱い、Wordを使用した基礎的な文書作成、Excelを使用した基礎的な表計算	20		20	
修了評価(筆記試験)	介護職員初任者研修カリキュラムに定める科目の理解度の評価	2	2	0	
職場実習	介護事業所において職員の指導の下での生活支援技術の実践、介護事業所の概要、介護職員の業務についての理解	78	0	78	
1日の訓練時間	9時10分～15時50分 訓練時間 6時限(50分授業) 休憩時間 100分(昼休憩70分) (9:00～9:10 朝礼)	総訓練時間	総訓練日数 59日間 総訓練時間 330時間 (学科 178時間・実技 152時間) ※うち職場実習 78時間 (日数 13日間)		

※訓練修了するには学科、実技の訓練設定時間のそれぞれ80%以上の受講が必要です。詳しくは訓練校までお尋ね下さい。